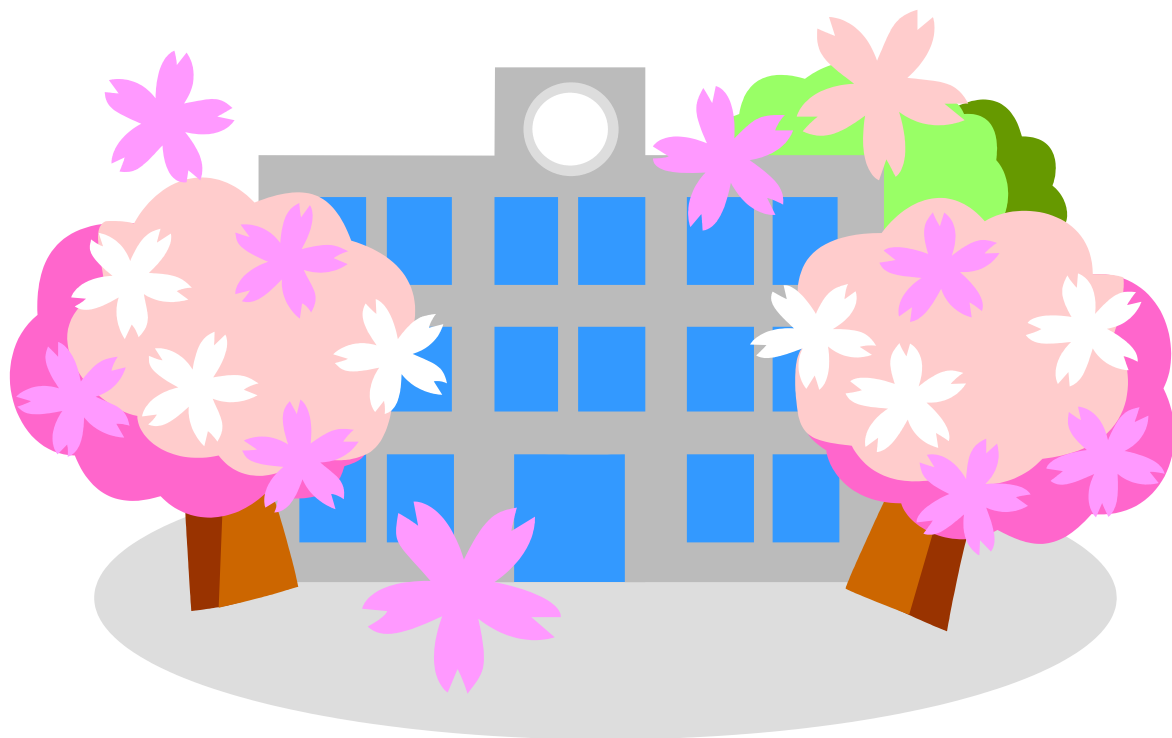


# PTAオリエンテーション資料



影森小学校 P T A

# P T A活動について

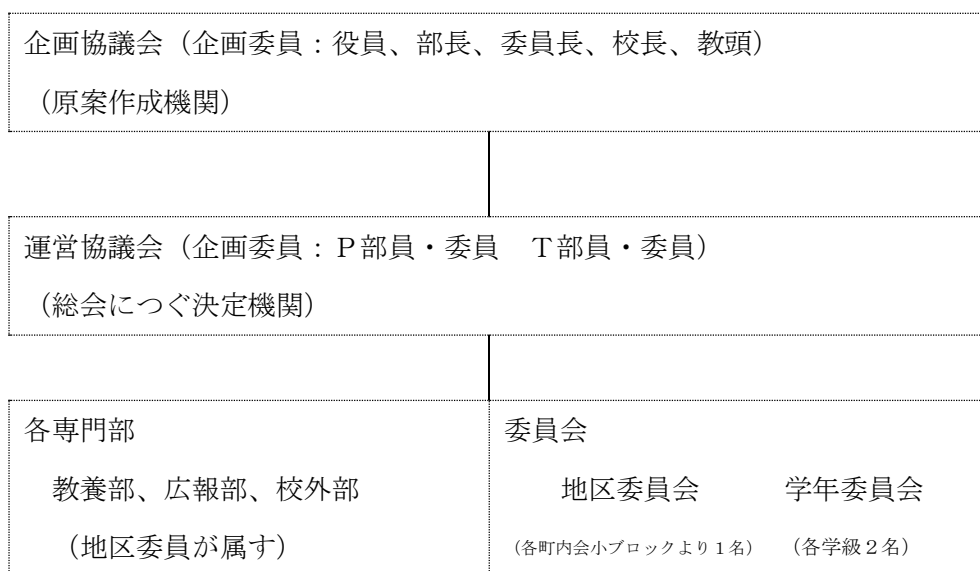
## 1 P T Aとは

P (parent 親) T (teacher 教師) A (association 会)  
学校と家庭が協力して教育効果の向上にあたる。

## 2 P T Aのねらい (県P T A連合会会報より)

- P T Aの3つの柱
- ① P T Aは学校の協力機関である。
  - ② P T Aは成人教育の場である。
  - ③ P T Aは教育世論形成機関である。

## 3 影森小学校P T A組織 (会則より)



## 学級委員の心がまえ

秩父市立影森小学校PTA

### § パイプの役割

学級の問題を全校PTAに発展させ、また全校の問題を学級PTAに徹底させるパイプの役割です。学級PTAでは、子どもたちの身の回りに起こる問題について話し合われます。同じ年齢の子ども、同じクラスで遊んだり、勉強したりしている子どもの父母どうしですから、共通の話題で話はずむはずです。

しかし、学級だけでは解決できない問題につきあたることも多いでしょう。例えば、しつけの問題について深く知りたい、専門家の話を聞きたい、そんなときPTA全体の教育活動に発展させることができます。会員の中から出された共通の問題であったとき、本当に生きた学習になるのです。

### § 相互の理解と心のつながり

学級PTAを、学校教育の面から考えてみると、学校教育がその成果をあげていくためには、親の願いや悩みを無視するわけにはいきません。会員の中には、教育は、学校まかせという人がいますが、子どもの幸福な成長を願う親の立場として、教師との真剣な話し合いが必要です。それを通じて、親と教師は相互の教育上の立場と役割を理解できるようになるものです。この相互の理解と心のつながりが、PTA本来の目的を実現することになるのです。

### § 学習の場

学級PTAは、学級内の子どもたちがどのように成長しているのか、そこにはどんな問題があるのかについて、親と教師ができるだけ広い視野にたって話し合う場です。このことは学級PTAが一つになって学習と研究をしていく必要があるということにもなります。それがまた、PTA会員としての教育活動にもなるわけです。したがって、学級PTAは、会員自身の重要な学習の場であることもよく認識しましょう。

## §みのりあるものに

学級PTAの活動にあたっては、年度の初めに年間計画や運営方法を、委員と担任で話し合い、お互いに認識しておくのが望ましいです。これは、そこでの集会がその場かぎりではなく、その後の活動をみのり多いものにするためには必要なことです。

## §懇談会の中心となり、なごやかな雰囲気づくりを

学級懇談会では、学級委員が中心となり、担任と力を合わせて話し合い等を進めたり、欠席者にも何らかの形でお知らせをするのが望ましいことです。それとともに、その集会が楽しみになるような雰囲気を作り出したいものです。きっと、学級委員や学級担任のちょっとした心づかいで、その集会での話し合いや学習が、なごやかな楽しいものになることでしょう。

## 学級委員の役割

学級の会員の声を吸い上げる  
↓  
PTA活動に生かす  
↓  
全会員の活動となるような働きかけをする

## 問題解決の方法

学級から出された問題  
↓  
学年の問題とする  
(学年委員会)  
↓  
企画協議会  
運営協議会に反映  
↓  
全PTAの問題として考え、  
解決していく